

農業（マンゴー栽培）分野①

事業計画の内容



約6年間にわたって、マンゴー栽培を栽培面積27アールで試行錯誤を行いながら続けてきた結果、糖度・形状・色など商品として販売できる品質と量の確保が出来るようになってきた。今後、事業を拡大するため、栽培面積の拡大、ビニールハウス、ボイラー等設備の増設等を検討している。

事業の課題及びアドバイザーの助言

○ 規模拡大を図るための施設の補助や融資について

農業関係の公的支援を受けることが出来る対象者は「農業者」または「農業法人」^{注1}であり、制度融資としては「農業改良資金」^{注2}「農業近代化資金」^{注3}「農業経営基盤強化資金」^{注4}などがある。これら農業関係の公的支援融を受ける際は資枠が大きい「農業法人化」も有望な選択肢といえる。また、地元市町村と相談し、「認定農業者制度」^{注5}による認定を受けることも必要である。

なお、規模拡大においてはリスクがあるため、そのリスクを分散するため、作型分散について指導する。

この外、県内の優良農業者や観光農園の事例について紹介する。

○ 商品として販売できる品質と量の確保が出来るようになってきたため、本格的な販売戦略、販売方法についての知識の習得について

ターゲットとするマーケットを地元や県内ではなく、東京、大阪等大都市圏に置くことにより出荷価格・販売価格が高く設定でき、利幅を取ることができる。

また、仲買・卸を通すより消費者に直接販売する方が中間マージンが発生せず、消費者に安価で提供することができ、利益も確保しやすい。そのため、インターネットを使った「直接販売」等を検討することが望まれる。更に地元の農家で生産されている他の果樹・農作物などとのセットの商品化も考えられる。

基本的な生産・供給体制が整いつつある今、生産に見合った販売目標、販売計画、収支計画など事業の数値計画を作成する必要がある。

○ 現在、当事業の推進・管理は1名で行っているため、人材の確保と組織的な取り組みの方法について

栽培ノウハウを継承する人材の計画的・重点的な育成又は外部からの獲得による人材の確保が求められる。併せて、社内にプロジェクトチームを置くなど栽培と販売の組織的・計画的な取り組みが望まれる。

その後の取り組み状況

現在、農業法人の登録手続きを進めている。

会社名及び連絡先

株式会社 松岡建設工業
〒861-0131 熊本県鹿本郡植木町広住 583
代表取締役 松岡義久
TEL 096-272-0075
FAX 096-273-0650